

葬祭業者名	株式会社為永
所在地	長崎県大村市片町92
調査日	2018年1月24日



花祭壇の開始時期と近況

花祭壇の開始時期	平成5年頃から
花祭壇の種類	決まっていない（利用者の要望次第）
花祭壇の利用者数	年間180組
花祭壇と白木祭壇の割合	花祭壇：白木祭壇 = 8：2
花祭壇は、家族葬と一般葬どちらが多いか	一般葬

- ✓ 葬祭業界の主流になってきているので導入しました。また、お花をたくさん飾ることが弔いの原点とも考えています。
- ✓ 花輪などの造花も平成5年ごろから徐々に、生花へのご希望が変わり生花が増え始めました。
- ✓ 生花は仲買人から仕入れていましたが、平成5年ごろに法人内に生花店舗の部門を設け、生花市場への参加が認められたことも成果の使用が増えた大きな要因です。

近年の花祭壇の傾向と、花祭壇を選んでもらうための取り組み

- ✓ このところ、コショウランを使うことが多くなってきています。祭壇中央部に配置すると全体の印象のグレードが上がったように見えるためだと思われます。
- ✓ 故人様やご家族様のご要望に応えられるように、自身や身内が亡くなられる前から、葬儀に関する勉強などをしてもらう事前相談や終活セミナーなどの機会を基本的に無償で提供しています。その際、実際の会場に花祭壇を特別に設置してその前で行うなどしています。
- ✓ 花祭壇を間近に見てもらうことで、実際に葬儀を行う際の安心感や満足度の向上につなげています。また、実際に花祭壇を見ながら、花の種類や色あいなどの要望を聞くことで、事前に予約していただけるよう努めています。

花祭壇で用いる花について

主に使用する花（色）	キク（白）、ユリ（白）、カーネーション（ピンク）、トルコギキョウ（ピンク、紫）
使用する花の長さ	20～80cm（基本長は40cm）
使用する花の形状	茎と花がまっすぐになっているもの （葉物・枝物は形状に応じて使うため、特に決まり無し）
好まれる花	キク、サンダーソニア、コチョウラン、トルコギキョウ
好まれる色	白、黄、ピンク
使用する花の産地	メインは国産（長崎県産、福岡県産）
産地の割合	国産：輸入 = 10：0
仕入れの方法	市場のセリ
標準的な花祭壇で使う花の量	10種類
標準的な花祭壇で使う花の本数	250～350本
使用する花に求めるもので、特に重視するもの	色、日持ち性、価格

花祭壇作りについて

作り方で重視するポイント

- ✓ 生花を仕入れた後、基本的に自社で花祭壇を製成しています。
- ✓ 生花を使うことは、業者ができる弔いの気持ちの表現の一つと考えています。
- ✓ 良かったなどと思われることを大切に考えており、喪家様の希望に沿ってデザイン・色合いを工夫しています。
- ✓ 葬儀の打ち合わせ全般を通じて、故人のイメージや、好きだった色や花を汲み取り、花祭壇づくりにさりげなくいかすと喜ばれます。単に花の色や種類の希望を聞いて対応するだけではなく、こうした自然な配慮が重要と考えています。

使う花の種類や要望への対応方法について

- ✓ どのような花祭壇にするかについて、喪家様にどの色が好きか、どの花が好きかなど希望を聞きます。とくに希望がない場合には、性別や年齢で、デザイン・色合いを使い分けています。
- ✓ フラワーストッカー3台にキク 2,000～3,000本のほかコチョウラン、ソニア、デンファレ、バラ、ガーベラ、カスミソウ、トルコギキョウなどの生花を多く在庫して、ご要望に応えられるようにしています。

使う花の産地について

- ✓ 諫早花市場の仲買組員（生花部）から生花を仕入れています。この市場では、輸入品がほとんど出回らないため、結果的に生花スタンドや祭壇花では概ね国産の花を使っています。